旭川市立末広小学校　学校だより　　令和６年８月３１日　第５号

ふれあい

【重点教育目標】　学びと社会とのつながりを実感し、
笑顔と活力で能動的に学び続ける子供の育成

子供が安心できる居場所をつくるために

校長　小　野　直　久

２学期が始まった８月２６日には、日に焼けた子供たちが元気に登校し、校内に子供たちの笑顔と明るい声が戻ってきました。始業式では、子供たちに、２学期は①何事にも一生懸命に取り組む、②周りの人を思いやる、③自分の言動や思いの一部を調整したり我慢したりするなどして、皆が安心できる集団生活をつくる、④学習の基礎・基本を確実に身に付けることできるよう、分からない学習内容については積極的に勉強することを重点的に努力してほしいと伝えました。教室では、子供たちが３３日間の思い出を発表するなど、充実した夏休みの一端を見ることができました。夏休み期間中に、お子様の学習や生活、町内会のラジオ体操等についてご協力いただきました保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。

１学期を振り返ってみますと、末広小学校のプラス面として、運動会や遠足・集団宿泊的行事、地域等とつながった体験的な活動、奉仕活動、児童会活動、係活動などを通して、子供たちは大きく成長することができたという成果がありました。しかし、マイナス面として、いじめを行った人が正直に名乗り出てくれない事案や、子供の気持ちに寄り添うことが不十分だった対応、校内の情報共有や事案解決に向けた対応の遅れなどの課題があったことも事実です。このことから、子供自身が、「共感的な人間関係をつくる力・他者意識をもって周囲の人を思いやる力」の育成と環境をつくるため、２学期において以下の取組を重点的に推進していきます。

【主な取組の概要】

(1)　子供たちの不安や悩み等の把握、いじめ事案等の解決・未然防止、自分を見つめ更なる成長を目指す気持ちの向上を図るため、末広っ子アンケートを実施します。

(2)　子供の自己肯定感や学校生活における期待・希望・やる気の向上や安心できる集団生活等をつくる力を高めるため、学年・異学年が関わる集会等を実施します。

(3)　学年としての考えや多様な大人の考えを受け止め、よりよい集団生活をつくる実践意欲を高めるため、担任以外の教員が子供と関わる場面を増やします。

(4)　良好な人間関係をつくる実践意欲を高めるため、「相手意識」「人権」「自己コントロール」などを考える学習を重点的に実施します。

(5)　学校と家庭・地域が連携・協力していじめ事案等の早期解決・未然防止やよりよい集団をつくるため、学校が苦慮している等の状況や家庭・地域にご協力いただきたいことなどを積極的に学校だより等でお伝えしていきます。

(6)　教職員間の迅速な情報共有を行うため、校内だけのクラウド上の伝達システムをつくり活用していきます。

子供自身が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと自発的・主体的に成長・発達するためには、学校と保護者・地域の皆様が同じ願いや視点をもって子供と関わることが大切だと考えています。学校にはタイムマシンがないため、取組・アクションの正解は分かりませんが、①まずやってみること、②成果・効果がなければ修正・改善することを繰り返しながら、子供一人一人の自己指導能力を高め、安心できる居場所をつくっていきたいと考えていますので、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2学期がスタートしました!

8月26日(月)、夏休みを終え、83日間の2学期が始まりました。

始業式では、小野校長先生から、「『一生懸命に学習・生活を頑張ること』『思いやりの気持ちをもって行動すること』『自分の言葉や態度を我慢・調整すること』『分からなければ教えてもらうこと』の4つの約束を守って、皆で皆が楽しいと思える2学期をつくっていこう」という話がありました。その後、3名の代表児童が、長い休みならではの体験を通して得た考えや学び、2学期に頑張りたいことなどを発表しました。

教室に戻ってからは、「眠い」「お腹空いた」など、久しぶりの登校に疲れた様子も見られましたが、課題の提出、思い出の交流、1学期の復習などを行い、2学期がスタートしました。

学校運営協議会

学校運営協議会は、本校の教育活動や子供たちの様子等について共有したり、学校運営に対して助言や評価をいただいたりする場です。

7月22日(月)に第1回の学校運営協議会を開催し、学校経営の構想に対する承認と、いじめの状況、熱中症対策、PTA活動などについてお考えをいただきました。

今後も、本校の実情や願いなどを積極的にお伝えし、それに対する声や地域としてできる支援などをいただきながら、学校運営を進めてまいります。

令和6年度　末広小学校
学校運営協議会委員の皆様

会　長　妻木　　正　様
副会長　鈴木　京子　様
委　員　久貫　利雄　様
委　員　田畑姫都美　様
委　員　田澤　淳子　様
委　員　小野　直久（校長）

PTA 愛のパトロール」

「愛のパトロール」は、旭川市の子育て支援部が声掛け役となり、「地域の子供は地域で守り育てる」という考えのもと、夏休み期間、子供たちの集まりやすい場所や事故の発生しやすい場所などを巡視する活動です。

本校では、2年ぶりの実施になります(昨年度は荒天が予想されたため中止)。夏休み2日目の7月25日(木)夕方、保護者と教職員20名が校区内5つのコースに分かれ、児童が立ち入ったり遊んだりしそうな場所や危険箇所等を1時間程度巡回しました。パトロールに参加いただいた保護者の皆さん、ご協力ありがとうございました。

残念ながら、この日は子供たちに会うことはほとんどありませんでしたが、子供たちの遊び方や自転車の乗り方等を危険視する地域の方の声が聞かれています。学校の教育活動やPTA活動に限らず、「地域の子供は地域で」を共通の考えとして、大人全員・地域全体で子供たちを指導し、見守り、育てていきましょう。

9月

【生活目標】じょうぶな体をつくろう
【給食目標】地産地消について知ろう
【保健目標】けがを防ごう

2日（月）教育実習（～27日）、全校朝会
3日（火）避難訓練
5日（木）児童会
11日（水）消防講座（3年）
　　　　ミュージカル鑑賞（6年）
12日（木）クラブ
13日（金）諸費納入期限日
15日（日）ノーメディアデー
17日（火）プール片付け ※予定
　　　　PTA廃品回収
19日（木）食育授業（6年）、クラブ
20日（金）児童会役員選挙
26日（木）児童会
30日（月）いじめ防止強化週間（～4日）
　　　　教育相談、通知表配付

今、学校では…

コロナ禍に一区切りが付いてから、1年3ヵ月ほどが経ちました。

3年もの長い間、子供たちは、マスクの着用を強いられるとともに、教育活動・行動・人との距離や関わり等を制限された日々を過ごしました。人の顔が見えない、人と触れ合って楽しむことを避けなければならない、感情を解放できない…幼少期に受けた非日常的な制約が子供たちに与えた影響は、やはり大きかったと感じます。特に、人との関わりにおいて、表情から気持ちを読み取る、受け取り方を想像した言動をとる、必要に応じて受け流す、自分の欲求や感情をコントロールする…など、相手意識や相手との適度な距離を学ぶ貴重な経験が不足してしまったことは否定できません。

今、子供たちは、集団生活の核となる人との関わりを学んでいる真っ最中です。当然、相手がいる以上、思うようにいかない、うまくいかない場面が出てきます。時には、意思に反して相手に嫌な思いを与えてしまうこともあるでしょう。大事なことは、大人が道筋を整え解決してあげるのではなく、子供（たち）が自分（たち）で乗り越える経験を積み重ねていくように導くことだと考えます。ようやく本来の学校生活を送れるようになった今こそ、私たちには大人として、末広っ子全員の成長と将来を念頭に置き、どっしりと構えながら見守ったり後押ししたりすることが求められているのではないでしょうか。